

すがよしひで

# 菅義偉氏に名誉市民の称号を贈呈しました

市では、市民または湯沢市に縁故の深い方で、公共の福祉を増進し、広く国家社会または地方自治の進展に寄与貢献し、その功績が卓抜で郷土の誇りとして市民が深く尊敬する方に対し、湯沢市名誉市民の称号を贈り、その名誉をたたえることとしています。

市議会6月定例会において、秋ノ宮地区出身で、県内初の内閣総理大臣を務められた菅義偉氏を選定する議案が可決され、新市合併後の湯沢市名誉市民の称号を贈ることが決まりました。

7月29日に都内のホテルにおいて、同じく秋田県名誉市民の称号を贈呈する県と合同で顕彰式を行い、市長から菅氏に名誉市民の称号記と記念品を贈呈しました。



▶記念品として沈金を施した川連塗りの大皿を贈呈しました。



▶右から菅義偉氏夫人、菅義偉氏、佐藤市長、兼子正寛市議会議長

平成18年9月

総務大臣として初入閣

故郷秋田への思いから「ふるさと納税制度」を創設。

その後、自民党選挙対策総局長、自民党幹事長代行などを歴任。



「意志あれば道あり」

菅義偉氏の軌跡

昭和23年12月6日  
秋ノ宮村(当時)のイチゴ農家に生まれる。

雄勝町立秋ノ宮小・中学校、秋田県立湯沢高等学校を経て上京。

平成8年10月

衆議院神奈川2区から出馬し初当選。以降、連続で10回の当選を果たす。

昭和50年

法政大学法学部に入學。卒業後は会社勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。

昭和62年4月

横浜市議会議員に初当選。2期8年務める。

平成24年12月

内閣官房長官に就任

在任期間は歴代最長の7年8カ月となった。携帯料金値下げを実現。



平成31年4月

新元号を発表

“令和おじさん”の愛称で広く親しまれる。

令和2年9月

第99代内閣総理大臣に就任



▲首相指名時のパブリックビューイングの様子(市役所本庁舎)



▲内閣総理大臣就任時の市内の様子

デジタル庁の創設、不妊治療の保険適用、新型コロナウイルスワクチン接種など数多くの政策を実施。  
「2050年カーボンニュートラル」の宣言。

令和8年1月

衆議院議員総選挙への不出馬を表明。

令和8年6月

湯沢市名誉市民に選定。

菅義偉氏から



私は、秋ノ宮に生まれ育ち、湯沢高校を卒業して上京しました。26歳の時に一念発起して政治の世界に飛び込みました。それ以来、故郷の湯沢市、秋田県に少しでも恩返しをしたいと思って政治活動をしてきた私にとって、湯沢市名誉市民の称号をいただけることは本当に嬉しく、誇らしいことです。

政治家人生を通じて、ふるさとにゆかりのある皆様からのたくさんのお支援や励ましは大変温かいものでした。この機に改めて湯沢市民の皆様にご心より御礼申し上げます。

佐藤一夫 湯沢市長から



長年にわたり国政の重責を担われ、我が国の発展、そして、ふるさとのために御尽力を重ねてこられた輝かしい御功績を、広く顕彰し、感謝申し上げる機会をいただいたことは、誠に喜ばしい限りです。

とりわけ、菅氏が総務大臣を務められていた際に創設された「ふるさと納税制度」につきましては、当市でも多方面にわたる貴重な財源となっており、多大なる恩恵を受けております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という厳しい社会状況の中でも、内閣総理大臣として日本のかじ取りをしていただいたことは、湯沢市民にとって大きな誇りです。